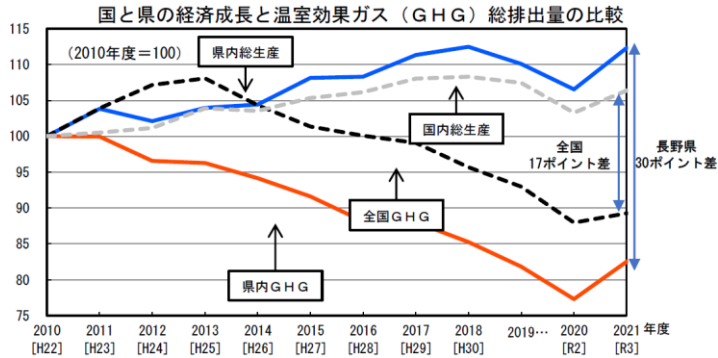


第2回専門委員会にあたって：近年の動向をふまえた県施策のあり方 (茅野恒秀・法政大学社会学部／信州大学グリーン社会協創機構)

1. 前戦略時代から掲げる、県内経済成長と温室効果ガスの「デカップリング」が停滞傾向にあることは、ゼロカーボンに向けた行動変容が一部の県民や事業者の行動変容のみにとどまっていることを示していると思料。 →現戦略で定めた重点方針と施策の方向性は維持しつつ、地域社会・経済のあらゆる分野に対して、県が掲げるビジョンの理・利と行動変容とを浸透させる「主流化」の実現に向けてリソースを注ぐべき。
2. 松本平ゼロカーボン・コンソーシアム(MZCC)、浅間リサーチエクステンションセンター(AREC)GX推進・脱炭素経営研究会、上伊那ゼロカーボン・プラットフォーム(KZCP)など広域の産学官連携プラットフォームが活動している他、信州アーツカウンシルによる「SHINSHU Arts-Climate Camp」など、「主流化」につながる県内の動きは着実に広がっている。 →2022年に「住宅分野における2050ゼロカーボン実現に関する協定」を県内住宅建設関連12団体と知事が締結したように、県内各層の行動変動を促す働きかけをいっそう拡充すべき。リソースが限られ区域施策編未策定の市町村へのプッシュ型支援も有効。
3. 「突破プロジェクト」として掲げたエネルギー自立地域創出支援事業、県庁舎ZEB化、コンパクト+ネットワークまちづくりプロジェクト等は実現に時間がかかっている。 →環境省地域脱炭素推進交付金や、県内事業所のZEB化実現事例は増加しているので、くらしふと信州や上記の広域プラットフォーム、県と市町村の研究会等を活用して、事例の横展開を力強く推し進めるべき。
4. 自然エネ地域発電推進事業(収益納付型補助金)、事業活動温暖化対策計画書制度、「つなぐ信州屋根ソーラー」、信州健康ゼロエネ住宅(最低基準義務化)など一定の進展がある主要施策。 →言うまでもなくさらに加速・増強すべきだが、施策間連携や多主体協働を仕掛け取り組みボリュームの爆発的増大を実現させるべき。
5. 県内では松本市、箕輪町で無作為抽出型の気候市民会議を開催し、市民アクションプラン等の政策提言を実施。 →「環境」へ意識のある県民の包摂にとどまらず、より広範囲の県民との直接的な学びと対話の場を設けていくべき。



松本平ゼロカーボン・コンソーシアム(MZCC)
：2022年2月設立
産学官120者が入会
6市村／3金融機関
3地域エネ会社



浅間リサーチエクステンションセンター(AREC) GX推進・脱炭素経営研究会
：2002年設立のAREC内に2023年3月発足



2024.11.22 | #SHINSHU Arts-Climate Camp

【12/22開催】Shinshu Arts-Climate Camp × SHINBISM
上映会&シンポジウム「地域とアート現場における資材循環を考える」

信州アーツカウンシルでは、「気候×アート」をキーワードに、気候変動や環境問題をアートの視点から様々な切り口で考える取り組みを、信州大学人文学部との連携事業として2023年から行っています。

今回は「資材循環」をテーマに、展覧会やアートプロジェクトなどの取組で廃棄物を出さないための再利用や、全体を循環する仕組みとして地域に溶け込ませていく試行などについて事例紹介を行います。アート現場における「資材／マテリアル」の「循環／共有」が地域に与える影響、変化の可能性について考えてみたいと思います。

地域課題解決とゼロカーボン (政策統合の視点)

※私の各地での実践・学びから

①福祉×ゼロカーボン

(社会的弱者にこそ高断熱、再エネを届けたい)

②移住・高齢者・子育て×ゼロカーボン

(移住者、高齢者、子育て世代が安心できる地域でありたい)

③学び舎×ゼロカーボン

(幼保小中高大学は地域の断熱文化発信拠点として最適)

④住宅建築×ゼロカーボン

(地元業者が施工技術を持てばビジネスに付加価値)

誰もが安心して暮らせる、
働ける、学べる建物

⑤地域づくり×ゼロカーボン

(「集落点検」にゼロカーボンの視点を加味すれば新たな発見が)

⑥公共施設×ゼロカーボン

(皆が集う拠点こそサステイナブルにシフトしよう)

⑦都市計画・公共交通×ゼロカーボン

(ショートウェイシティの実現に欠かせない本質的課題)

⑧まちづくり・防災×ゼロカーボン

(地域熱供給などこれからの都市基盤整備)

地域内経済循環のための
再エネ大量導入

誰も取り残さない
脱炭素社会へ
市民や企業との
ラストワンマイルを
公共政策で
埋めていく

持続可能なコミュニティ

⑨全ての屋根に太陽光を

(PPAや自家消費で太陽光＝インフラの時代へ)

⑩サプライチェーンの隅々まで

(ティアの末端まで追加性のある再エネ投資を)

⑪DX×ゼロカーボン

(V2X、VPPなどのDX技術で暮らしをより便利に)

⑫地域内経済循環×ゼロカーボン

(地域新電力で資源経済を私たちの手に取り戻す)

⑬耕作放棄地・寒冷地×ゼロカーボン

(再エネは地域課題解決との合わせ技で導入すれば美味)

地元産業が持続できる
脱炭素経営へのシフト

⑭商工会・商工会議所×ゼロカーボン

(中小零細企業の脱炭素経営を地域を挙げて支援したい)

⑮企業パートナーシップ×ゼロカーボン

(共同購入などオフィス町内会的な取り組みも効果大)

⑯産業政策×ゼロカーボン

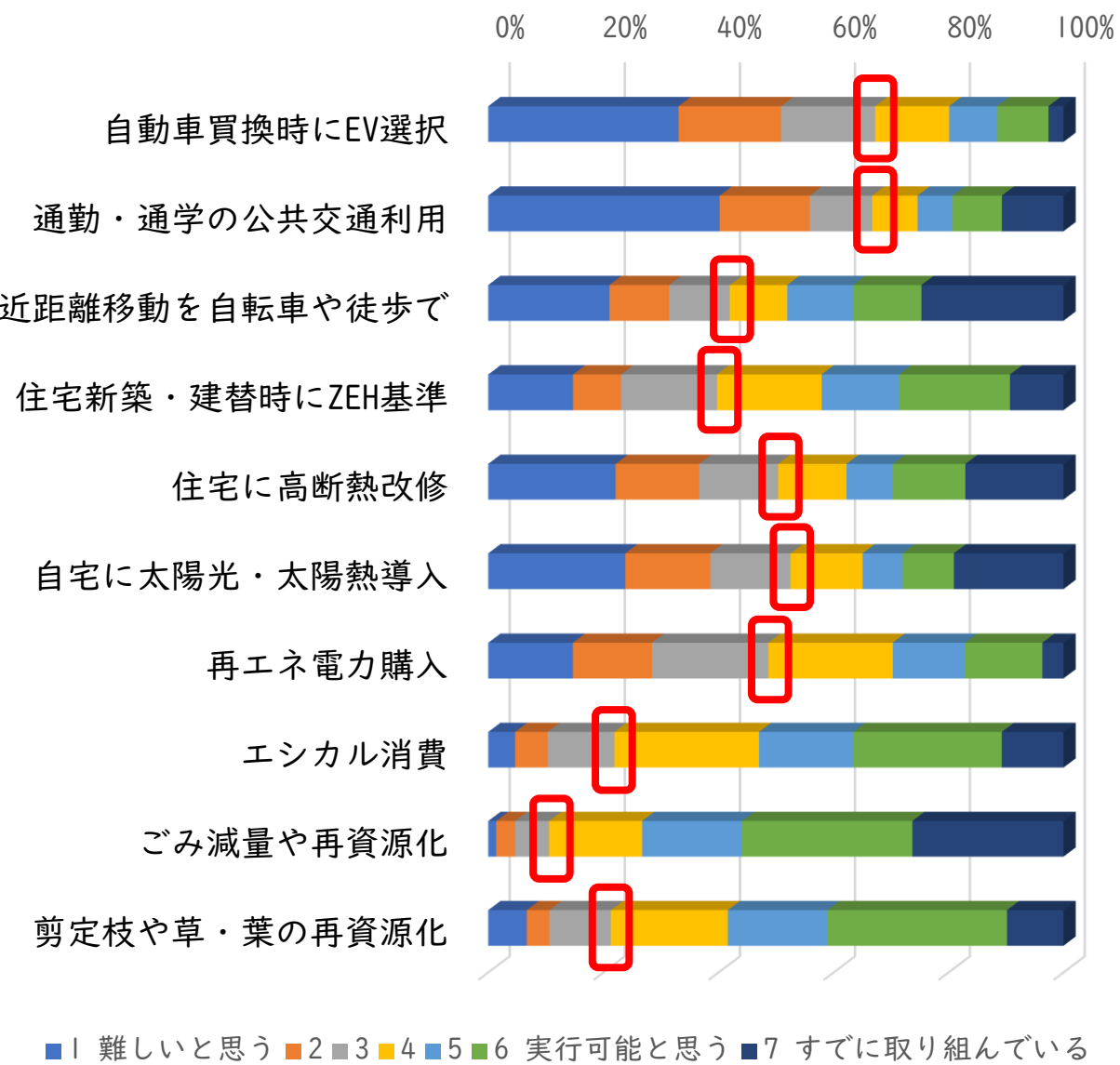
(ゼロエミッション産業団地を実現したい)

⑰新価値創出×ゼロカーボン

(RE100リゾート、RE100農業などの可能性)

気候変動対策の取り組みの実施可能性と困難性

(2024年7月、松本市民5000人へのアンケート：749名の回答)



- 暮らし向きが「高い」という人ほど、全体的に実行可能と評価(EV、新築・建替時ZEH、住宅高断熱改修、住宅太陽光・太陽熱、再エネ電力購入の5項目で1%有意)。
- 女性がEV選択、エシカル消費、ごみ減量を実行可能と評価(いずれも1%有意)。

※EVに前向きなのは、女性、高齢、持ち家があり、暮らし向きが高いという人

- 高齢者ほど「近距離移動を自転車・徒歩で」は難しい(1%有意)。
- 賃貸住宅居住者は住宅断熱改修と住宅太陽光・太陽熱の導入が難しい(1%有意)。←→持ち家の人ほど前向き。
- 持ち家の方は公共交通利用が難しく、賃貸の方は前向き(1%有意)。ただし年齢の効果がある可能性。

= 対策がとれる人と(現状では)とれない人がいる可能性。
→ どのように政策で支援すべきなのだろうか。
→ 松本では行動変容を支援する相談窓口の設立構想中。

ゼロカーボン社会とは 本当の豊かさを実感できる社会

足元の「暮らし」を「ふと」立ち止まって見つめ直し、
心地よさや心の豊かさを感じられる、
自然と調和した美しい暮らしへの「シフト」を促す。
分野と世代を超えた様々なひとたちの共創によって、
各地域の自然・文化的資源を再発見・再編集し、
地域の「くらしふと」を進めていく。

私たちは
ゼロカーボン社会共創プラットフォームを
「くらしふと信州」と名づけました。



(長野市に拠点
各地に連携拠点)



(くらしふとカンファレンス)



気候市民会議まつもと(2024.9~2025.1) 無作為5000人→274人応諾→50人選出



松本市ウェブサイト



9月7日(土) 第1回

テーマ：気候変動の現状

情報提供者：江守正多さん、浜田崇さん

対話：学んだこと、感じた疑問や心配ごと



9月28日(土) 第2回

テーマ：気候変動対策の取り組み

情報提供者：平林高広さん、鈴木博史さん
信州大学社会学研究室

対話：疑問点・不明点、大切と考えること
興味のあるテーマ・対象

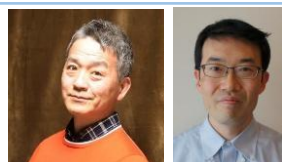


10月26日(土) 第3回

テーマ：気候変動対策の検討①

情報提供者：平島安人さん、櫻井啓一郎さん

対話：テーマ別検討グループの構成
市民アクションの例、政策提言の例



関心を4つの
テーマに集約

わかもの会議作成：疑問に関する資料集

自分ごとプラネットで排出量計算

11月16日(土) 第4回

テーマ：気候変動対策の検討②

情報提供者：高木直樹さん

対話：市民アクションのアイデア・リストづくり
→300を超える意見が挙がった



12月14日(土) 第5回

テーマ：市民アクションプランの検討①

情報提供者：石川智子さん

松本市交通部

藤川まゆみさん

対話：アクションプランの項目を20項目に整理

→さらに意見を出しあった→意見は累計500を超えた



2025年1月25日(土) 第6回

テーマ：市民アクションプランの検討②

情報提供者：三上直之さん

対話：アクションプランの最終検討／マイアクションも発表



専門家や実践者からの学び



参加者同士の対話



市民の協働に結実させよう！

ゼロカーボン

ZERO CARBON

市民アクションプラン

in まつもと



スタート地点

「じぶんごとプラネット」というコンテンツで自分のCO₂排出量を計算することができます！

1 気候変動対策の入口へ一歩踏み出そう！

- 気候変動を身近に感じる機会に参加しよう
- 市民が気候変動対策を進めるための相談窓口を活用するなどして、自分ができる気候変動対策を把握しよう
- アプリなどを使って、自身や家庭のCO₂排出量を「見える化」してみよう



再生可能エネルギー



松本市では太陽光発電設備の補助金もあります！
また、初期費用がかからない「0円ソーラー」も選べます！

2 自宅の電力を太陽光発電で自給できるって、すごい！

- 信州屋根ソーラーポテンシャルマップで自宅の発電可能性を確認しよう
- 自宅の屋根等に太陽光発電を検討・導入しよう
- ライフスタイルに合わせて電気自動車（EV）や蓄電池を活用しよう

3 再エネ比率の高い電力を選べるって、知ってる？

- 発電メニューで電力会社を比べて選べることを知ろう
- 再エネ比率の高い電力を選択しよう

4 電力も地産地消ができるっていいな！

- 地域に必要な再エネの量を知り、地域の特性に合った導入を後押ししよう

- 災害時の自立など地域の課題解決につながる取り組みを支持し、市民としての関わり方を見つけよう
- 地域主導の再エネ事業を応援しよう

5 熱も再エネで賄えたら、心も身体もあたたまる♪

- 太陽熱温水器やおひさまエコキュートを検討・導入しよう
- 薪やペレットなど木質バイオマスストーブを検討・導入しよう

6 再エネで暮らしを豊かにする方法、知っていませんか？

- 再エネに関して総合的な情報を扱うウェブサイトや広報紙にアクセスしよう
- 住まい・方ライフスタイルに合わせた再エネの活用方法や経済的メリットがあることを知ろう



住まい



ZEHとは、太陽光パネルなどを取り付けて、年間のエネルギー消費量を実質ゼロにした住宅のことです。

7 自宅のエネルギー使用量、考えてみたことある？

- 住宅の室温や電気・燃料の使用量を把握し、できることを家庭や所属するコミュニティで共有しよう
- 住宅のエネルギー効率化（省エネ）について専門家に相談してみよう

8 断熱が効果的って、もっと広げたい♪

- 断熱に関する情報・メリット・方法を共有し、実践する仲間を増やそう
- 断熱ワークショップを地元企業と連携したりして企画・実行しよう

9 ゼロカーボンにつながる住宅、あるんです！①ZEHという選択

- 新築時にはゼロエネ住宅（ZEH）を選択しよう
- リフォーム時にもゼロエネ住宅を検討・選択しよう

10 ゼロカーボンにつながる住宅、あるんです！②既存住宅の断熱化

- 住宅の断熱改修の可能性を調べよう
- 開口部（例えば窓）などを重点に工夫して断熱しよう

11 賃貸・中古住宅でもゼロカーボンを実現したい！

- 賃貸・中古住宅を検討する際に、断熱性能の高い住宅を選択しよう
- 賃貸・中古住宅を検討する際に、不動産事業者に物件の断熱性能を確認し、断熱住宅の需要が高いことを知らせよう



ゼロカーボンってなに？

ゼロカーボンとは、企業や家庭が排出する二酸化炭素をはじめとする温室効果ガスの「排出量」から、植林・森林管理などによる「吸収量」を差し引いて、排出量の合計を実質的にゼロにすることを意味します。



このまま何もしないと、猛暑日、酷暑夜が増え、冬日は少なくなります。また淹のように降る雨が、一方降水の無い日も増えていきます



交通・EV普及

サイクルツーリズムとは、自転車を利用した観光を指します。

12 公共交通をもっと利用すれば、もっと充実させられる！

- 公共交通とゼロカーボンが繋がっていることを知ろう
- 公共交通の利用回数を月2回以上増やそう
- さらに利用を増やして公共交通機関の自動車のEV化を求めよう

13 電気自動車（EV・PHEV）でゼロカーボンドライブ♪

- 市のEVカーシェア事業などを通じてEVを体験してみよう
- 自動車を買換える時にはEVを選択しよう
- 充電環境がまだ整わない人はハイブリッド車などエコカーを選択しよう

14 徒歩や自転車で移動を楽しもう♪

- 徒歩移動の魅力や効用を発見し、街歩きを楽しもう
- 個人所有の自転車だけでなくシェアサイクルを活用しよう
- サイクルツーリズムなど自転車を活用した街の魅力を広めよう

15 ゼロカーボンにつながるまちをつくらう！

- 移動に伴うCO₂排出量を把握しよう
- パーク&ライドなど自動車に頼らない移動手段を考えて実行しよう
- エコ通勤・通学にできるところから取り組みよう



気候変動適応・ライフスタイル



気候変動への「適応」とは、現実や予想される気候及びその影響に対して自然や人間社会のあり方を調整していくことです。

16 気候変動への「適応」について、一緒に学ぼう♪

- 気候変動によって松本に生じている変化について知ろう
- 気候変動対策を地域課題解決と合わせて考えてみよう
- 気候変動の体験を地域で共有しよう

17 農ある松本の暮らしを持続させよう！

- 農業・農産物に関心を持とう
- 地元で作ったものを食べよう
- 規格外農産物を積極的に消費しよう

18 私たちの日々の消費がゼロカーボンにつながる！

- ものを買うときに地産地消を意識しよう
- 運送輸送にかかるCO₂を知り、物流の環境負荷を小さくしよう
- 家電製品を買換える時には省エネ型の製品を選択しよう

19 ごみの削減、資源循環にいっそう取り組もう！

- 3R（リユース、リデュース、リサイクル）を徹底しよう
- 食品ロスについて学び、実践しよう

20 里山も街も緑を充実させよう！

- 森林吸収源としての役割が果たせるよう森林保全に地域で取り組もう
- 身近な生活環境に緑を充実させよう

気候町民会議inみのわ(2025.5~6)

無作為2000人→応諾30人+信大生10人



5月31日(土) 第1回

学び①気候変動の現状について
②箕輪町の取り組み
③長野県の取り組み

対話①気候変動に関する疑問や気づき
②みんなにとってのゼロカーボン

7月5日~17日
地球・環境・未来フェスinみのわ で報告！

4. 箕輪町らしい気候変動対策の推進

①みんなで知る／みんなで伝える

- 気候危機：世界と箕輪町への影響
- 地球と次世代への責任：気候正義
- 町のビジョンと取り組み、企業の取り組み
- +町民がすべきこと、できることを明確に
=地球温暖化対策アクションプラン2022
- 地区や学校、職場のまとまりを活用
- 地域の情報を日ごろから話題に
- 「ゼロカーボンを実現する先進地」を町民が他地域に自慢できるようにする

②みんなで備える／みんなで変える

- 農業と工業の町が持続するために
- 太陽光発電に適した立地を活かす
- 省エネと再エネの経済的メリットをわかりやすく示す：心理的ハードルを下げる
- 取り組むことが楽しくなる活動デザイン
- 象徴的な変化を起こしてみよう：
例) 学校や高速バス停への送迎など

③みんなで備える／みんなで変えるために

- 箕輪町で共に生きるすべての人々の「自分ごと」にしよう
- 行動する町民を支えるしくみを、協力してつくりよう
- 「ゼロ仲間」になろう、「ゼロ仲間」を増やそう
- 気候町民会議のような学びと対話の場をつくり、参加しよう

みのわが
好き！



6月14日(土) 第2回

学び①箕輪町における気候変動
②伊那谷における産業界の取り組み
③町民一丸となった推進

対話①学びをふまえた意見交換
②町民一丸となった推進体制

6月28日(土) 第3回

学び
① 脱炭素まちづくり

対話
① 箕輪町の推進体制 (各テーブルで)
② 箕輪町の推進体制 (全体で)

■ 'わたし、'のアクションの検討・発信